

公の礼拝のクオリティ

平塚教会牧師 北川一明

イエスは近寄つて来て言われた「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなたがたは行つてすべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によつて洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るようになさい。わたしは世の終わりまでいつもあなたがたと共にいる」。

(マタイ二八・18～20)

私が子どもの頃、クリスチャンと言えば外国人宣教師と英語で話す、右の頬を打たれたら左の頬を差し出す人格者と…と、されていました。五軒奥に日本キリスト教団の教会があり、一度くらいは日曜学校に行つたことがあるような気もします。しかし日曜学校以外で実際のクリスチヤンに会うことはありませんでした。クリスチヤン人口が1%と言っていた時代です。

わ
か
し

2026年1月
第769号

日本基督教団 平塚教会
〒254-0045 平塚市見附町6-18
電話 ○四六三(32)八八三一
発行人 平塚教会
編集人 日下部明美



本格的にキリスト教と出会つたのは一九七〇年代の終わりです。当時の師である牧師は冒頭の聖句を挙げて「日本の教会が『量より質』というのは負け惜しみだ」。たしかに「量より質」とは量が十分に備わっている人たちが謙遜する時の言葉です。さらに「クリスチヤンが人口の一〇%を超えて初めて社会の質が変わると力説していました。

御高説にその気にさせられたのか、神学校に行きました。今度は「教会は牧師のものではない。神は、その地に住む信徒に教会を託し、その地の伝道を委ねた」と教えられました。牧師は任期が終わればその地を去るからです。そして「それなのに日本の教会は『地域の教会』と言いつつ、実際は牧師の個人商店のようになっている」という手厳しい指摘を受けました。「礼拝出席が三桁に届く前に頭打ちになるのは、一人の牧師が把握できる範囲で終わるからだ」という分析は正鵠を射ているかもしれません。

では牧師は何の役に立つかというと、教会としてのるべき姿を示すのが務めです。ただ理想と現実は違います。そこで長老会や役員会が、理念をふまえつづ現実の運営を考えます。

目 次

公の礼拝のクオリティ 牧師 北川一明 …1

12月度役員会報告

星野俊則 …4

2025年クリスマス礼拝記念写真

教会のクリスマス

…4

本番15秒前！

…3

編集後記

…4

もつとも牧師個人の示す「あるべき姿」が正しいとは限りません。長老教会の長老会や会衆派教会の総会は、牧師の考え方が正しいかどうかを審査・判定します。メソジスト教会は牧師の神学的な判断を正しいものと受け取りますが、ただ、それをそのまま教会に適用できるかどうかを考えて、時には敢えて妥協的な判断をする場合もあります。

教会としてあるべき姿は、私たちの信仰告白に「教会は、公の礼拝を守り、福音を正しく宣べ伝え…」とある通り、公の礼拝をすることが第一です。

その点で、私が初めて平塚教会に来た時には大いに励まされました。平塚教会の会衆席は、きちんと神さまの方を向いている印象を受けたからです。キリスト教系の学校で牧師を務めていた一〇年間、日曜日は色々な教会に出席しましたが、会衆席に世俗の空気が色濃く漂い全く公の礼拝をしている気分になれなかつた所も多々ありました。

世俗的な馴れ合いではなく、礼拝への真摯な姿勢がある。この点において、平塚教会は高い「質（内実）」を保っています。みなさんには、ぜひその誇りを持っていた

だきたいのです。

確かに「質」があるのでから、次に「クオリティ」を高めたいです。「質」を英訳すれば *quality* ですが、片仮名の「クオリティ」は、漢字の「質」とは少しニュアンスが違います。質とは内実の性質ですが、クオリティとは、その内実が第三者にも感じられる質を言うようです。

礼拝を英語で言えばサービスです。サービスを提供するのは信徒、提供を受けるのは神さまです。信仰者個々も礼拝を捧げることが出来ます。公の礼拝ではなく個的な礼拝では、質さえ高ければクオリティは気にする必要はありません。たとえば結婚式は、段取をどれだけ取り違えても、内実の「誓約」さえ誠実に出来れば良い礼拝サービスです。幼稚園の礼拝も、教育礼拝ですから内実が大切です。

しかし主日礼拝は公の礼拝である以上、クオリティも重要です。そしてクオリティが高ければ伝道につながります。なぜなら第三者の感じ取れる質がクオリティだからです。

教会は温かみも感じてもらいたい場です。人間関係のあり方が変わった現代では、昭和の時代の伝え方そのままでは届かないことがあります。平塚教会の素晴らしい品質を、現代の地域の人たちに届くクオリティで提供する。そういう意識で新来会のかたと接してください。

着任何年日かに「アトリエ・フタバ」という幼稚園業務にかこつけて、幼稚園の費用で一階の受付デスクを購入しました。それまでは折り畳みの事務机が置かれていました。機能としては変わりません。質素こそが美德という考え方もあるでしょう。しかし門構えはお客様に対しても重要な意を決して初めて教会に入つてみたら、まづ折り畳み机が仮置きされている受付があつたのでは、「内輪感」を感じさせます。それでは「ここは公の礼拝の場だ」という印象を与えるくいと考えたからです。

貧しいながらも精一杯の礼拝を捧げている教会であれば、手作りの受付机がかつて教会の公共性を証しするものになる場合もあります。しかし平塚教会のようない派な礼拝堂であれば、「ここは公の礼拝の場だ」と襟を正していただくには、相応のクオリティが必要だと思います。

12月度役員会報告

12月7日礼拝終了後 「第10回定例役員会」が行われました。主な内容は以下のとおりです。

「教会役員会の実際の務め」履修。

牧師報告事項として、
「教会役員ハンドブック

礼拝に関する件。教会員に関する件。伝道・牧会に関する件。オープンチャーチの振り返り。キリスト教的な内容のものがあつてもよかつたなど。教区・地区活動に関する件、教会付帯事業に関する件、幼稚園募集状況等について報告。

審議事項として、

礼拝に関する件。①12月21日降誕主日礼拝、祝会。②12月24日クリスマス燭火礼拝。③訪問聖餐礼拝の実施について。
伝道・牧会に関する件。①年末年始スケジュール、12月31日は夜のみ祈祷会。1月1日は10時より年始祈祷。②クリスマス委員会より、外部献金先として、東神大と小諸学舎の提案あり。

信徒に関する件。①永眠者名簿について、情報更新を行う。

教会付帯事業に関する件。幼稚園との経費負担割合を現状利用頻度に合わせて検

討を行う事。教会財政に関する件。

報告・審議事項より、①訪問聖餐礼拝の実施。②外部献金先を東神大と小諸学舎とする。を決議事項とする。

(報告 星野俊則)

教会のクリスマス

それぞれの家庭でクリスマスを迎えるアドヴェントの過ごし方は色々ですが、教会のクリスマスを迎える準備を紹介します。

今年は11月29日(土)朝に集合、三階倉庫から飾りの段ボールを下します。外の飾り、中の飾りに分けて作業が始まります。

クラシックの作成も同時にスタート! 聖家族の飾りはどこ?! 何々を探してなどと進行し、電飾をツリーに這わせ電気の花が咲きます。このツリーには二葉幼稚園児のオーナメントも飾られ賑やかになります。外部は暗くなつてのおたのしみ!! 収納箱を三階倉庫に戻し終り!! おいしいカレーでお腹を満たして解散。おつかれさま。

そして第一アドヴェント11月30日にクリスマスのろうそくが灯り、4本のろうそくが灯るとクリスマス礼拝と愛餐会、24日

19時より燭火礼拝、25日家庭クリスマス

になりました。どうですか、飾りから家庭クリスマスまでを思い起させましたでしょうか!?

来年のクリスマス飾り作業に参加されたい方、大歓迎します!



【編集後記】

ご在天の父なる神様

おとずれ769号発行を感謝します。

発行された日には、御子の御降誕のお祝いも終わり、世の中はお正月の支度に忙しくする年末の休みが始まっています。

御子の御降誕で新しい年が始まると言われていますが、あなたに守られた一年を感謝します。そして新しい年もご同様にななたに導かれることを祈ります。